

# 他に類のない特殊な形状+αが差を生み出す！



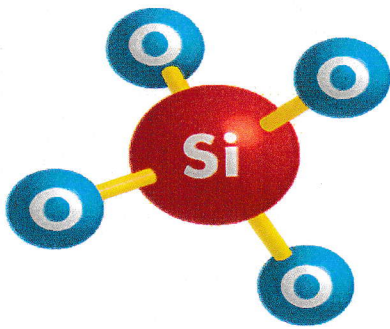
「なぜアッシュフォードフォーミュラは世界50ヶ国で使用され、シェアNo.1なのか？」

日本でも数多くの浸透性コンクリート強化剤がありますが、なぜこんなに高い評価を得ているのかにお答えします。

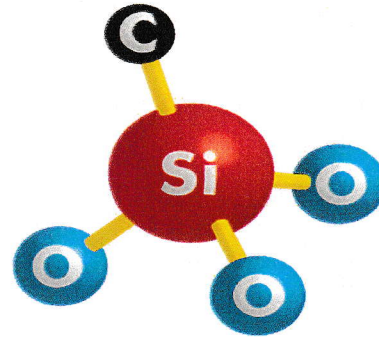
## 1. アッシュフォードフォーミュラの成分と他の類似品の成分

一般的に浸透性コンクリート強化剤はシリカ系と呼ばれており、アッシュフォードフォーミュラやその類似品の主な成分は珪酸ナトリウムです。

化学式で表すと何れも  $\text{Na}_2\text{SiO}_3$  となりますが、構成している原子の結びつきがアッシュフォードフォーミュラと類似品では全く異なります。



シリケート＝アッシュフォードフォーミュラ



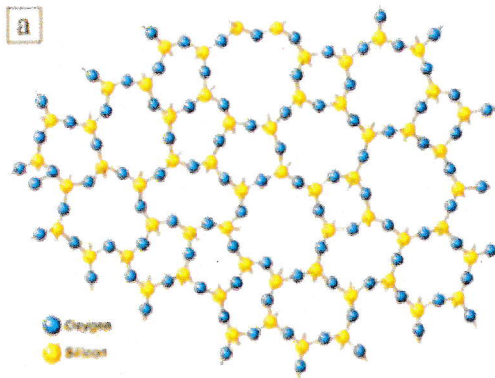
シリコネート＝類似品

同じシリカ系でも、アッシュフォードフォーミュラはシリケート、その他の類似品はシリコネートと呼ばれて、区別されています。その特徴は、シリケートはシリカに酸素が4個繋がっており、シリコネートはシリカに酸素が3個と炭素が1個繋がっていることです。

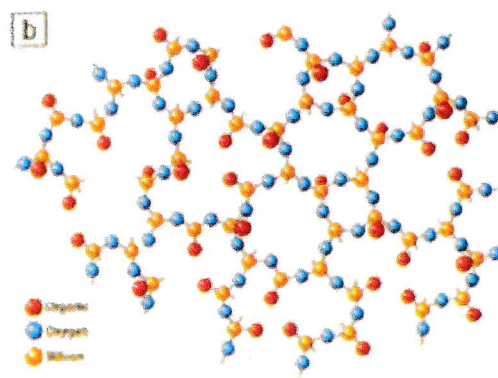
これにより、現在発売されている浸透性コンクリート強化剤の中で、シリケートはアッシュフォードフォーミュラのみであることから、他の類似品とは異なることがご理解いただけたと思います。

## 2. 酸素4個と3個で、何が違うのか？

シリケートとシリコネートがコンクリート中で化学反応すると以下の様な連鎖が出来ます。



シリケート＝アッシュフォードフォーミュラ



シリコネート＝類似品

シリケートは、反応すると全て鎖の様に繋がるので、強固な結合を生み出します。これに対し、シリコネートは反応が終了しても、部分的に連鎖が切れているので弱い部分があり、効果にムラがあったり耐久性に問題が生じるのは明らかです。

## 3. 他社で絶対に真似できない反応を促進する特殊な化学物質

アッシュフォードフォーミュラは分子構造の違いの他に化学反応を促進させる特殊な化学物質が含まれています。この物質は他社では絶対に真似できません。(製造メーカーでは特許を取っていませんが、特許を取らなくても絶対に真似できないと自信を持っています。)

分子構造の違いと化学反応を促進するこの物質のおかげで、より強固な3次元連鎖構造ができあがり、これが世界で類似品を圧倒している理由です。

いかがですか？ アッシュフォードフォーミュラと類似品の違いを少しご理解いただけたでしょうか。

最近「アッシュフォードフォーミュラ同等品」という設計仕様が良く見受けられます。しかしこのことを理解いただければ同等品というものは存在せず、あくまでも類似品であることがご理解いただけたと思います。